



誰もが輝く 住みよいまち ～ひと・環境がやさしく結びあう しめ～

志免町は、昭和39年に炭鉱が閉山して以降、福岡市までのアクセスの良さなどから宅地化が進み、ベッドタウンとして、これまで発展を続けてまいりました。人口問題については、全国的に言われているような人口減少は進んでおらず、他の自治体からの転入や自然増で少なからずとも増加をしている状況にあります。

近年の我が国の状況は、例年のように台風・豪雨などを原因とする大規模災害が起き、消費者問題や情報化の進行に伴うネット犯罪、急激な少子高齢化やそれに伴う社会保障費用の拡大といった社会的問題が見られ、町民の皆様の暮らしにも様々な影響や厳しい状況を及ぼしています。

地方に目を移すと、住民の価値観の多様化や生活様式の変化に伴う住民ニーズが高度化・複雑化してきています。志免町においても地域住民の町内会離れや地域活動へ参加しないというコミュニティが弱体化する状況が拡大してきています。このような状況を踏まえ、これからの地方自治のあり方を確実に捉え、将来を展望したまちづくりが求められています。

そのような中、平成23年度よりスタートしている第5次志免町総合計画の前期基本計画が平成27年度をもって終了することから平成28年度以降の5年間を計画期間とする後期基本計画を策定しました。

社会の変化に対応した、安心して、生き活きと暮らせるまちとなることを目指した内容となっています。

本計画の特徴をあげるとすれば、重点施策を『子どもを安心して生み育てることができるまちをつくる』という子育て支援施策の1本に絞り、成果の向上に向けて強く進めるとしたところです。また、この5年間に於いて戦略的に取り組み、成果を上げていく取り組み6本を戦略プロジェクトとして設定し、優先的かつ新たな取り組みを進めていきます。

町民一人ひとりが、輝く地域の主役となり、それぞれが地域の元気を分かちあえるようなまちづくりを進めるため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

最後に、本計画の策定にあたり貴重なご意見をいただきました総合計画審議委員や総合計画研究会員の皆様、町民意識調査やパブリックコメントにてご意見いただいた町民の皆様に感謝の気持ちを申し上げます。

平成28年3月

志免町長 世利 良末